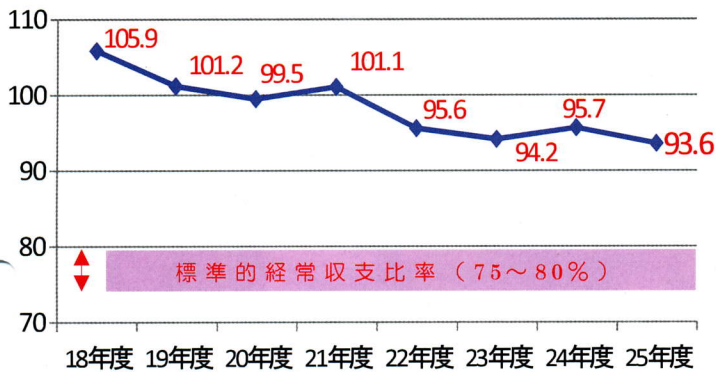


平成 25 年度

# 決算 6 会計を認定

経常収支比率の推移



決算特別委員会において、平成25年度の一般会計ほか5会計の決算審査を行いました。

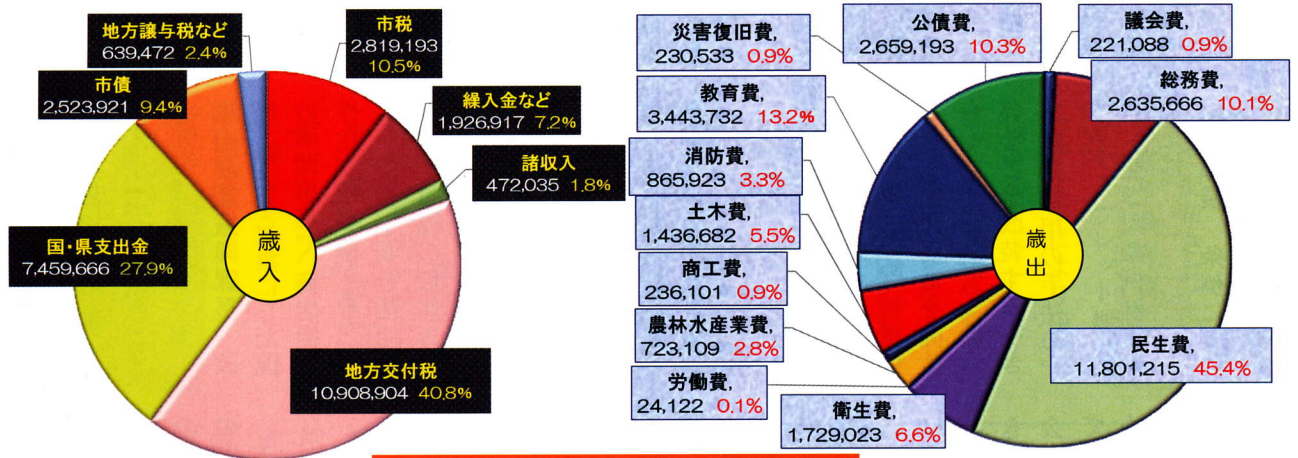
一般会計においては、歳入総額267億5010万円、歳出総額260億638万円とし、歳入歳出差引額は、7億4372万円で、うち4億円は基金に繰り入れます。

市の財政状況としては、市税などの自主財源が19・5%、地方交付税や国県支出金などの依存財源が80・5%と、他に頼った自治体運営となっています。

経常収支比率は、93・6%と2・1ポイント上昇し財政の柔軟性が若干向上した結果となりました。

審査の結果、6会計ともに認定されました。

## 一般会計決算の状況



## 各会計の決算額

	歳入	歳出	差引額	
一般会計	267億5,010万円	260億638万円	7億4,372万円	
国民健康保険事業特別会計	54億9,937万円	60億307万円	△5億370万円	
後期高齢者医療特別会計	6億1,443万円	5億9,346万円	2,097万円	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	9,085万円	2,346万円	6,739万円	
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	53億8,224万円	52億9,967万円	8,257万円
	サービス事業勘定	6,531万円	6,531万円	0
水道事業会計	収益的収支	6億2,563万円	5億7,117万円	5,446万円
	資本的収支	1億5,852万円	3億1,872万円	△1億6,020万円

※国民健康保険事業会計の不足額は、翌年度歳入繰上充用金で、水道事業会計の不足額は過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。